

【制御工学第二・同演習】現代制御 6 回目問題と略解

B クラス：2017/11/13(月) 出題 ⇒ 2017/11/20(月) 提出

問題【1】<sup>(22)</sup>：次式で表されるシステムに対して、極が  $-1 \pm j$  である同一次元オブザーバを求めよ。

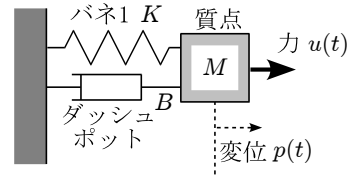
$$\dot{x} = \begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 1 & -1 \end{bmatrix} x + \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} u, \quad y = \begin{bmatrix} 0 & 1 \end{bmatrix} x$$

問題【2】<sup>(31)</sup>：

下図の系について以下の問いに答えよ。ただし、質点に加わる力  $u(t)$  を入力とし、質点の速度  $y(t) = \dot{p}(t)$  を出力とする。また、 $K$ 、 $M$ 、 $B$  はすべて正の定数とする。

[1] この系の状態方程式と出力方程式を書け。

[2]  $M = 1[\text{kg}]$ 、 $K = 1[\text{N/m}]$ 、 $B = 1[\text{N}\cdot\text{s/m}]$  とする。このとき、極が  $-2 \pm j[\text{s}^{-1}]$  である同一次元オブザーバを求めよ。



問題【1】<sup>(22)</sup>：

[解答] 系  $\dot{x} = Ax + Bu$ 、 $y = Cx$  に対する同一次元オブザーバは、適切な  $2 \times 1$  行列  $E$  を用いて

$$\dot{z} = (A - EC)z + Bu + Ey \quad (1)$$

と表せる。ここで、 $z$  が  $x$  の推定値となる。このオブザーバの極は  $A - EC$  の固有値である。 $E = [p, q]^T$  とすると、

$$A - EC = \begin{bmatrix} 0 & -p \\ 1 & -1 - q \end{bmatrix} \quad (2)$$

となる。この行列の固有値を  $\lambda$  とすると、これは下記の特性多項式の根となる。

$$\det(\lambda I - (A - EC)) = \begin{vmatrix} \lambda & p \\ -1 & \lambda + 1 + q \end{vmatrix} = \lambda(\lambda + 1 + q) + p = \lambda^2 + (1 + q)\lambda + p \quad (3)$$

すなわち、 $\lambda$  は

$$\lambda^2 + (1 + q)\lambda + p = 0 \quad (4)$$

の解である。よって、 $\lambda = -1 \pm j$  が上式の解であるためには、 $1 + q = 2$  および  $p = 2$  が満たされる必要がある。すなわち、 $E = [2, 1]^T$  である。よって、同一次元オブザーバは

$$\dot{z} = \left( \begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 1 & -1 \end{bmatrix} - \begin{bmatrix} 2 \\ 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 0 & 1 \end{bmatrix} \right) z + \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} u + \begin{bmatrix} 2 \\ 1 \end{bmatrix} y \quad (5)$$

すなわち

$$\dot{z} = \begin{bmatrix} 0 & -2 \\ 1 & -2 \end{bmatrix} z + \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} u + \begin{bmatrix} 2 \\ 1 \end{bmatrix} y \quad (6)$$

である。

注意 1: 上記の式 (5) で終わっている解答は, 基本的に不可. 他人への情報提示は, 単純化できる  
 ところではできるだけ単純化してから行うこと.

注意 2: 同じ理由で,

$$\dot{z} = \begin{bmatrix} 0 & 0 \\ 1 & -1 \end{bmatrix} z + \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} u + \begin{bmatrix} 2 \\ 1 \end{bmatrix} (y - w), \quad w = \begin{bmatrix} 0 & 1 \end{bmatrix} z \quad (7)$$

も基本的に不可. 無駄な中間変数  $w$  を用いて式を複雑にしても意味がない. 導出過程と最終結果は  
 厳密に区別すること.

注意 3:  $y$  を  $Cx$  で置き換えて,

$$\dot{z} = \begin{bmatrix} 0 & -2 \\ 1 & -2 \end{bmatrix} z + \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} u + \begin{bmatrix} 0 & 2 \\ 0 & 1 \end{bmatrix} x \quad (8)$$

とした解答は不可. 最後に解答すべきものは, オブザーバのアルゴリズムである. 状態量  $x$  は直接観  
 測できない (だからオブザーバを作る) ので,  $x$  を含んだアルゴリズムは実装できない. だから不可.

注意 4: 状態フィードバック ( $u = -Kx$ ) との混同が多く見られたが, 別のものであることに注意.

問題【2】<sup>(31)</sup>:

[解答例] [1] この系の運動方程式は

$$M\ddot{p} + B\dot{p} + Kp = u$$

と書ける. 状態方程式は下記のようになる.

$$\begin{bmatrix} \ddot{p} \\ \dot{p} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} -\frac{B}{M} & -\frac{K}{M} \\ 1 & 0 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \dot{p} \\ p \end{bmatrix} + \begin{bmatrix} \frac{1}{M} \\ 0 \end{bmatrix} u, \quad y = \begin{bmatrix} 1 & 0 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \dot{p} \\ p \end{bmatrix}$$

[2] 同一次元オブザーバは

$$\dot{z} = \left( \begin{bmatrix} -1 & -1 \\ 1 & 0 \end{bmatrix} - E \begin{bmatrix} 1 & 0 \end{bmatrix} \right) z + \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} u + Ey$$

という形であらわせる. ここで,  $z$  が  $x$  の推定値である.  $E = \begin{bmatrix} X & Y \end{bmatrix}^T$  とするとオブザーバの極  
 は行列

$$\begin{bmatrix} -1 & -1 \\ 1 & 0 \end{bmatrix} - \begin{bmatrix} X \\ Y \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 0 \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} -1-X & -1 \\ 1-Y & 0 \end{bmatrix} \quad (9)$$

の固有値である. この固有値は特性多項式

$$(s - (-1 - X))s - (1)(Y - 1) = s^2 + (1 + X)s + (1 - Y) \quad (10)$$

の根であり, これが  $-2 \pm j$  と一致するのは  $1 + X = 4$ ,  $1 - Y = 5$ , すなわち,  $E = [3, -4]$  のとき  
 である. したがって, 極が  $-2 \pm j$  である同一次元オブザーバは

$$\dot{z} = \left( \begin{bmatrix} -1 & -1 \\ 1 & 0 \end{bmatrix} - \begin{bmatrix} 3 \\ -4 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 1 & 0 \end{bmatrix} \right) z + \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} u + \begin{bmatrix} 3 \\ -4 \end{bmatrix} y$$

すなわち

$$\hat{z} = \begin{bmatrix} -4 & -1 \\ 5 & 0 \end{bmatrix} z + \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix} u + \begin{bmatrix} 3 \\ -4 \end{bmatrix} y$$

である。ここで、 $z$  が  $x$  の推定値となる。